

新地方公会計制度における財務諸表の整備と活用（砥部町）

【取組概要】

地方行革新指針で、公会計改革の推進が掲げられたことを受け、平成19年度より新地方公会計制度にて、財務諸表の公表を実施。町の財政状況が一段と厳しくなる中、町の財務状況をより細かく伝え、住民と問題意識を共有。

人口 22,206人

担当部署 企画財政課

取組み事例のURL

<http://www.town.tobe.ehime.jp>

【取組みの効果】

財務諸表や財政計画、施設白書のほか、予算編成方針、予算査定の状況、予算の概要説明、予算・決算書、成果説明書など多くの成果物を町のHPで公表。住民はもとより、若い職員にとっても、町財政全般の状況をいつでも知ることができる環境を整備。

砥部町のホームページで、以下の成果物を公表しています。

- 予算編成方針
- 予算要求状況
- 予算査定の状況
- 予算の概要説明
- 予算書、決算書
- 主要施策の成果説明書
- 総合計画、実施計画
- 事務事業評価
- 財政健全化判断比率
- 財政状況一覧表
- 財政比較分析表
- 歳出比較分析表
- 財務諸表
- 施設別・事業別財務諸表
- 財政フレーム
- 施設白書

【他団体へのアドバイス】

財務諸表の公表と活用でポイントとなるのが資産台帳の整備。施設の統廃合等を考える際は住民との対話が不可欠であり、その際、資産台帳を基礎とした将来推計など、説得力のある資料が必要。

【創意・工夫した点】

公会計の要素を取り入れ、フリー・キャッシュ・フローや将来バランスシート、施設のライフサイクルコストや更新時期別ポートフォリオの作成、高額地方債の償還スケジュールなどを紹介。